令和６年度　前期

技能検定受検案内

技能五輪三重県予選参加案内
三重県技能競技大会参加案内

【受検申請受付】
令和6年4月3日（水）～4月16日（火）まで（土日祝日は除く）
★受付時間　午前9：00～午後4：00まで
（注）郵送の場合は、4月9日（火）当日消印まで有効。
また、受付開始日より前に到着しても受付できません。
（返送させていただきます。P5の注9参照）

技能検定は、職業能力開発促進法に基づいて受検者の皆さんがもっている技能の程度を一定の基準によって決定することにより、皆さんの技能が一層みがかれ、また、皆さんの地位が一層向上することを期待して技能検定職種ごとに、1級、2級、単一等級及び3級に区分し、実技試験及び学科試験によって行う国家試験です。

三重県職業能力開発協会

【注意事項】
三重県において、令和6年3月に「三重県手数料条例（平成12年三重県条例第4号）」の一部改正を予定しており、令和6年度前期技能検定試験の実施にかかる公示については、3月下旬となる見込みです。
本受検案内には、条例改正案をふまえた実技試験受検手数料等を記載していますが、正式には条例公布後に確定しますので、あらかじめ御了承ください。

◎ 実　施　日　程

<table>
<tr><th colspan="2">事　　項</th><th colspan="3">摘　　要</th></tr>
<tr><td colspan="2">受検申請受付</td><td colspan="3">令和６年４月３日（水）～４月16日（火）まで（土、日、祝日は除く）
★　受付時間　　午前９：00～午後４：00まで
注：郵送の場合は、４月９日（火）当日消印まで有効です。また、受付開始日より前に到着しても受付できません。（返送させていただきます。Ｐ５の注９参照）
注：受付終了後は、いかなる理由があっても受検手数料のお返しはできません。</td></tr>
<tr><td colspan="2" rowspan="7">提　出　書　類</td><td>受検申請書</td><td>１通</td><td>Ｐ13参照</td></tr>
<tr><td>受検手数料</td><td>現金のみ有効</td><td>Ｐ１参照</td></tr>
<tr><td>本人確認書類</td><td>全ての申請者（写しを貼付）</td><td>Ｐ１参照</td></tr>
<tr><td>減免の証明書</td><td>減免を受ける者（写しを貼付）</td><td>Ｐ１参照（受検手数料の項目）</td></tr>
<tr><td>免除の証明書</td><td>免除のある者（写しを添付）</td><td>Ｐ10・11参照</td></tr>
<tr><td>区　分　表</td><td>資料№５・６のうち該当する級を使用</td><td>資料№４（両面記入例）参照</td></tr>
<tr><td>個人情報提供承諾書</td><td>資料№10使用</td><td>署名・捺印</td></tr>
<tr><td colspan="2">提　出　場　所</td><td colspan="3">三重県職業能力開発協会　　☎　059－228－2732
〒514－0004　　津市栄町１丁目954番地　　三重県栄町庁舎　４階</td></tr>
<tr><td rowspan="2">実技試験</td><td>問題公表</td><td>令和６年　５月30日（木）</td><td colspan="2" rowspan="3">●実技試験問題あるいは概要は、公表日以降、上記提出場所で閲覧できます。
●受検票は、実技試験・学科試験の試験会場・集合時間が決定次第、試験実施日の約１ヶ月～１週間前までに順次送付します。（受検票には、公表されている実技試験問題あるいは概要を同封します。）
注：実技試験において受検人員が僅少の場合、又は諸般の事情により実技試験を取りやめにする場合があります。（受検手数料はお返しします。）</td></tr>
<tr><td>実施期間</td><td>令和６年　６月　６日（木）
～
令和６年　９月　８日（日）
〔令和６年　８月11日（日）〕※</td></tr>
<tr><td>学科試験</td><td>実　施　日</td><td>令和６年　７月14日（日）※
令和６年　８月18日（日）
令和６年　８月25日（日）
令和６年　９月　１日（日）</td></tr>
<tr><td rowspan="5">合格発表</td><td>発　表　日</td><td colspan="3">令和６年　８月30日（金）・・・３級（金属熱処理を除く職種）
令和６年10月　４日（金）・・・３級（金属熱処理）、その他の等級（全職種）</td></tr>
<tr><td>発表方法</td><td colspan="3">●合格者には、書面で通知します。実技又は学科試験のどちらかに合格された方には、ハガキで通知します。（不合格者へは通知しませんので、予め御了承ください。）
●合格者と片方合格者の受検番号をそれぞれ以下のホームページに掲載します。
合格者：三重県（https://www.pref.mie.lg.jp/oshigoto/09646012819_00003.html）
片方合格者：三重県職業能力開発協会（http://www.mivada.or.jp/）
注：電話による合否および得点ならびに受検番号の照会にはお答えできません。
注：片方合格ハガキは、免除の証明書になりますので大切に保管してください。</td></tr>
<tr><td rowspan="4">得点結果の提供</td><td colspan="3">実技試験及び学科試験の得点結果については、受検者本人に限り、口頭による請求ができます。</td></tr>
<tr><td>提供期間</td><td colspan="2">合格発表の日から１年間（土・日・祝日・年末年始を除く。時間８：30～17：15）</td></tr>
<tr><td>提供場所</td><td colspan="2">三重県雇用経済部障がい者雇用・就労促進課（三重県津市広明町13番地　三重県庁８階）</td></tr>
<tr><td>必要なもの</td><td colspan="2">本人の顔写真が貼付された身分証明書（運転免許証、旅券、学生証等）</td></tr>
</table>

【上記※印、金属熱処理を除く３級職種全てが対象となります。】

◎　本人確認書類の提出について

受検申請時には、本人確認書類として、以下のいずれかの書類の写しを**必ず**提出してください。
(1) 運転免許証
(2) 個人番号カード（個人番号が記載されている箇所は黒塗りすること）
(3) (1)、(2) を除く日本の官公庁が発行した身分証明書（氏名及び生年月日が確認できるものに限る）
(4) 健康保険被保険者証
(5) 生徒手帳又は学生証（氏名及び生年月日が確認できるものに限る）
(6) 特別永住者証明書
(7) 在留カード
(8) 外国政府が発行した旅券（写真欄及び日本国査証欄）

本人確認書類を提出する際は、**必ず受検申請書裏面の記入上の注意欄に原本サイズのまま切取したものをのりで貼付してください。**
（詳細は別紙「本人確認書類（写し）の貼付方法について」を御確認ください。）
紛失防止、受付審査時間短縮のため、御協力をお願い致します。

（注 1）本人確認書類を貼付していない場合は、受付できませんので御注意ください。
申請前には、必ず提出書類が全て揃っているか確認をお願い致します。
（事業所・団体一括申請の場合、本人確認書類が貼付されていない申請者分のみ返却致します。受検手数料と併せて再度個別に受付が必要となりますので御注意ください。）
（注 2）原本の提示では受付できません。必ず写しを貼付してください。
（注 3）本人確認書類は、写りの鮮明なものを貼付してください。（白黒印刷でも可。）
（注 4）コピー機等で写しを作成する場合、氏名及び生年月日記載面のみ複写してください。
（外国政府が発行した旅券の写し等を作成する場合は、写真欄及び日本国査証欄の記載面を複写してください。）

◎　受検手数料（案）

実技試験　１８,２００円
学科試験　　３,１００円
※３級については、高等学校等の在校生の場合、実技試験の受検手数料は**１２,１００円**となります。

技能検定実技試験受検手数料の減免について

下記の対象者は条件により実技試験受検手数料が**９,０００円又は、４,５００円**減額されます。
・減免措置の対象者（「ⅰ・ⅱ・ⅲ・ⅳ」を満たす者は９,０００円減額されます。「ⅰ・ⅱ・ⅲ」を満たす者は４,５００円減額されます。）
ⅰ　技能検定の３級の実技試験を受検する者
ⅱ　令和６年４月１日時点で **23 歳未満の者**　※平成 13 年（2001 年）４月２日以降に生まれた者
ⅲ　出入国管理及び難民認定法（昭和 26 年政令第 319 号）別表第一の上欄の在留資格をもって在留する者以外の者
ⅳ　**受検申請日において雇用保険被保険者である者＊**
（減免措置を受ける場合には、受検申請時に「**雇用**保険被保険者証」の写しの貼付が必要です。写しの貼付がない場合には、減免措置は受けられません。また、写しの貼付方法については、「本人確認書類（写し）」の貼付方法に準じて申請書裏面に貼付してください。）
※「**健康**保険被保険者証」の写しではありませんので御注意ください。
＊雇用保険法 (昭和 49 年法律第 116 号) 第 4 条第 1 項に規定する被保険者。

実技試験受検手数料一覧

級別＼減免有無	減免なし	減免あり	
		「ⅰ・ⅱ・ⅲ」を満たす者（雇用保険被保険者証なし）	「ⅰ・ⅱ・ⅲ・ⅳ」を満たす者（雇用保険被保険者証あり）
特級・1級・2級・単一等級	１８,２００円	減免対象外	
3級	１８,２００円	１３,７００円	９,２００円
3級（在校生）	１２,１００円	７,６００円	３,１００円＊

※学科試験は減免対象外のため、一律３,１００円となります。
＊在校生かつ受検申請日において雇用保険被保険者である場合が対象となります。
【注意】上記は令和6年3月に予定されている「三重県手数料条例」の一部改正案です。内容に変更が生じる場合がありますので、御了承ください。

◎　実施職種・試験実施日

※ P5 の欄外の注意書きを必ずお読みください。

(1) 1・2級（31職種・56作業）

職種番号	職種名	作業番号	作業名	学科試験実施日	実技試験実施日		
					製作等作業試験	計画立案等作業試験	判断等試験
103	園芸装飾	010	室内園芸装飾	9月 1日AM	○		
062	造園	010	造園工事	8月18日AM	○		○
003	鋳造	010	鋳鉄鋳物鋳造	9月 1日AM	○		
005	金属熱処理	010	一般熱処理	8月18日AM	○（1級のみ）	8月18日PM（1級・2級）	8月25日（2級のみ）
		020	浸炭・浸炭窒化窒化処理				
		030	高周波・炎熱処理				
006	機械加工	010	普通旋盤	8月25日AM	○		
		040	フライス盤				
		120	平面研削盤				
		130	円筒研削盤				
		150	ホブ盤				
		200	数値制御旋盤			8月25日PM	
		210	数値制御フライス盤				
		230	マシニングセンタ				○
183	非接触除去加工	020	数値制御形彫り放電加工	9月 1日AM	○	9月1日PM（1級のみ）	
		030	ワイヤ放電加工				
		040	レーザー加工				
007	金属プレス加工	010	金属プレス（注10参照）	8月18日AM	○	8月18日PM	
008	鉄工	020	構造物鉄工	8月25日AM	○		
122	建築板金	010	内外装板金	9月 1日PM	○		
123	工場板金	010	曲げ板金	9月 1日PM	○		
010	めっき	010	電気めっき	8月25日AM	○		
		020	溶融亜鉛めっき				9月1日

(1) 1・2級

職種番号	職種名	作業番号	作業名	学科試験実施日	実技試験実施日		
					製作等作業試験	計画立案等作業試験	判断等試験
012	仕上げ	010	治工具仕上げ	9月 1日AM	○		
		020	金型仕上げ				
		030	機械組立仕上げ				
146	切削工具研削	010	工作機械用切削工具研削	9月 1日PM	○		
014	ダイカスト	020	コールドチャンバダイカスト	8月25日AM	○	8月25日PM	
015	電子機器組立て	010	電子機器組立て	8月25日PM	○		
016	電気機器組立て	020	変圧器組立て	9月 1日AM	○	9月 1日PM	
		030	配電盤・制御盤組立て				
166	産業車両整備	010	産業車両整備	8月18日PM	○		
068	建設機械整備	010	建設機械整備	8月25日AM	○	8月25日PM	
124	家具製作	010	家具手加工	8月25日PM	○		
125	建具製作	010	木製建具手加工	8月25日PM	○		
037	プラスチック成形	020	射出成形（注10参照）	8月18日PM	○		
		040	真空成形			9月 1日AM	9月 1日
150	石材施工	020	石張り	9月 1日AM	○		
040	とび	010	とび	8月18日PM	○		
041	左官	010	左官	8月25日PM	○		
044	タイル張り	010	タイル張り	9月 1日AM	○		
086	防水施工	020	ウレタンゴム系塗膜防水工事	8月18日PM	○		
		030	アクリルゴム系塗膜防水工事				
		070	シーリング防水工事				
		100	FRP防水工事				
		110	改質アスファルトシート常温粘着工法防水工事				

(1) 1・2級

職種番号	職種名	作業番号	作業名	学科試験実施日	実技試験実施日		
					製作等作業試験	計画立案等作業試験	判断等試験
152	内装仕上げ施工	010	プラスチック系床仕上げ工事	8月25日AM	○		
		030	鋼製下地工事				
		040	ボード仕上げ工事				
		070	化粧フィルム工事				
102	サッシ施工	010	ビル用サッシ施工	8月18日AM	○		
059	表装	020	壁装	9月 1日AM	○		
060	塗装	020	建築塗装（注12参照）	8月18日AM	○		
		030	金属塗装				
		050	噴霧塗装				
119	フラワー装飾	010	フラワー装飾	9月 1日PM	○		

(2) 単一等級（2職種・2作業）

職種番号	職種名	作業番号	作業名	学科試験実施日	実技試験実施日		
					製作等作業試験	計画立案等作業試験	判断等試験
111	塗料調色	010	調色	9月 1日PM	○		○
159	産業洗浄	010	高圧洗浄	8月18日AM	○	8月18日PM	

(3) 3級（11職種・17作業）

職種番号	職種名	作業番号	作業名	学科試験実施日	実技試験実施日		
					製作等作業試験	計画立案等作業試験	判断等試験
103	園芸装飾	010	室内園芸装飾	7月14日AM	◎		
062	造園	010	造園工事	7月14日PM	◎		◎
005	金属熱処理	010	一般熱処理	8月18日AM		8月18日PM	8月25日
		020	浸炭・浸炭窒化窒化処理				
		030	高周波・炎熱処理				

(3) 3級

職種番号	職種名	作業番号	作業名	学科試験実施日	実技試験実施日		
					製作等作業試験	計画立案等作業試験	判断等試験
006	機械加工	010	普通旋盤	7月14日AM	◎		
		040	フライス盤				
		120	平面研削盤				
		200	数値制御旋盤				
		230	マシニングセンタ				
123	工場板金	010	曲げ板金	7月14日PM	◎		
012	仕上げ	030	機械組立仕上げ	7月14日PM	◎		
013	機械検査	010	機械検査	7月14日PM	実施なし		
015	電子機器組立て	010	電子機器組立て	7月14日AM	◎		
184	シーケンス制御	010	シーケンス制御	7月14日PM	実施なし		
038	建築大工	010	大工工事	7月14日PM	実施なし		
119	フラワー装飾	010	フラワー装飾	7月14日PM	◎		

(注 1) 同時に2以上の検定職種（作業）の受検申請は認められません。（誤って申し込まれた場合でも受検手数料は返金できませんので御注意ください。）
ただし、受検しようとする2以上の検定職種（作業）のうち、実技・学科両方に免除資格がある場合（D申請）のみ、受検申請を認めます。
(注 2) 実技・学科両方免除（D申請）の場合は、全ての職種（作業）について、前期・後期いずれでも受検申請を認めます。
(注 3) 実技試験において、受検人員が僅少の場合など、諸般の事情により実技試験を行わないことがあります。
(注 4)「学科試験実施日」欄に月日が記入してあるのは、当該左欄にある職種（作業）の実施日です。
(注 5)「実技試験実施日」欄に月日が記入してあるのは、全国統一で実施される試験です。
また、日付の記入されていない○印は令和6年6月6日（木）から令和6年9月8日（日）まで、◎印は令和6年6月6日（木）から令和6年8月11日（日）までのうち、いずれかの日に行う試験です。
(注 6) 学科試験会場及び実技試験会場の一部は、P16～P18・裏表紙の裏面に参考地図を記載してあります。
(注 7) 技能検定実技試験の概要等については、中央職業能力開発協会のホームページを御覧ください。
(注 8) 障がい者の受検に際して特別な配慮をする必要がある方は、申請時に申し出てください。
(注 9) 郵送で申込みをされる場合、申請書類等（現金含む）は、受付開始日以降に到着するように送付してください。
受付開始日より前に到着した場合には、返送させていただきますので御注意ください。（返送料は申請者に御負担願います。）
(注10) 金属プレス作業・射出成形作業については、受付後に抽選（受検の可否）を行う場合があります。（受付時には、受検手数料を納入していただきます。抽選後に落選者には、協会の指示した方法により返金させていただきます。
また、受付時に納入していただいた受検手数料については、抽選による落選者以外には、理由の如何にかかわらず返金できませんので御注意ください。）
また、A甲（実技・学科両方受検）申請して実技試験の抽選に落選した場合には、A乙（学科試験のみ受検）申請扱いとなりますので御注意ください。（学科試験の取消しはできませんので御注意ください。）
尚、抽選については、令和6年4月19日（金）午前10時に、三重県職業能力開発協会事務局で行います。
（抽選は、公開で協会職員が行います。希望者は、抽選に立ち会うことができます。）
(注11) 上記（注10）以外の作業につきましても、受付期間終了後の申請者状況・実施会場の都合により抽選となる可能性がありますので御注意ください。
(注12) 三重県においては、建築塗装作業の選択課題である「合成樹脂エマルション系複層塗材塗装作業」については、多孔質ローラーブラシを用いて実施いたします。（タイルガンを用いた吹き付け作業は選択できませんので御注意ください。）

◎　学科試験科目

１級、２級

検定職種	試験科目
園芸装飾	1.　室内園芸装飾法　2.　材料　3.　庭園　4.　植物一般 5.　観賞用植物の維持管理　6.　園芸施設
造園	1.　庭園及び公園　2.　施工法　3.　材料　4.　設計図書 5.　測量　6.　関係法規
鋳造	1.　鋳造一般　2.　機械工作法　3.　製図　4.　電気　5.　関係法規
金属熱処理	1.　鉄鋼材料の組織及び変態　2.　基本的熱処理法　3.　加熱装置及び冷却装置 4.　前処理及び後処理　5.　温度測定法及び温度自動制御法　6.　金属材料 7.　材料の試験及び検査　8.　機械工作法　9.　品質管理　10.　製図 11.　電気　12.　関係法規
機械加工	1.　工作機械加工一般　2.　機械要素　3.　機械工作法　4.　材料 5.　材料力学　6.　製図　7.　電気
非接触除去加工	1.　非接触除去加工一般　2.　機械要素　3.　機械工作法　4.　材料力学 5.　製図　6.　電気
金属プレス加工	1.　金属プレス加工法　2.　材料　3.　材料試験　4.　材料力学 5.　機械工作法　6.　油圧及び空気圧　7.　製図　8.　電気
鉄工	1.　鉄工作業法一般　2.　材料　3.　材料力学　4.　機械工作法 5.　製図　6.　試験及び検査
建築板金	1.　建築板金加工法一般　2.　建築板金用機械及び器工具一般　3.　材料力学 4.　建築構造　5.　製図　6.　電気
工場板金	1.　工場板金加工法一般　2.　機械工作法　3.　材料　4.　材料力学 5.　製図　6.　電気
めっき	1.　めっき一般　2.　品質管理
仕上げ	1.　仕上げ法　2.　機械要素　3.　機械工作法　4.　材料　5.　材料力学 6.　油圧及び空気圧　7.　製図　8.　電気
切削工具研削	1.　研削一般　2.　材料　3.　材料力学　4.　製図　5.　電気
ダイカスト	1.　ダイカスト法　2.　金型　3.　材料　4.　機械工作法　5.　製図 6.　電気
電子機器組立て	1.　電子機器　2.　電子及び電気　3.　組立て法　4.　材料　5.　製図
電気機器組立て	1.　電気機器組立て一般　2.　電気　3.　製図　4.　機械工作法　5.　材料 6.　関係法規
産業車両整備	1.　産業車両　2.　産業車両整備法　3.　材料　4.　機械要素 5.　燃料及び油脂類　6.　力学及び材料力学　7.　製図　8.　電気 9.　関係法規
建設機械整備	1.　建設機械　2.　建設機械整備法　3.　材料　4.　機械要素 5.　燃料及び油脂類　6.　力学及び材料力学　7.　製図　8.　電気
家具製作	1.　家具一般　2.　製図　3.　電気　4.　関係法規
建具製作	1.　建具一般　2.　建築物一般　3.　製図　4.　電気　5.　関係法規
プラスチック成形	1.　プラスチック成形法一般　2.　成形材料一般　3.　電気　4.　品質管理
石材施工	1.　施工法一般　2.　材料

1級、2級

検定職種	試験科目
とび	1. 施工法　2. 材料　3. 建築構造　4. 関係法規
左官	1. 施工法　2. 材料　3. 意匠図案　4. 建築構造　5. 製図　6. 関係法規
タイル張り	1. 施工法　2. 材料　3. 意匠図案　4. 建築構造　5. 製図　6. 関係法規
防水施工	1. 建設一般　2. 製図　3. 関係法規
内装仕上げ施工	1. 内装仕上げ一般　2. 建築構造　3. 建築製図　4. 関係法規
サッシ施工	1. サッシ施工法　2. 建具一般　3. 建築構造　4. 建築設計図書　5. 関係法規
表装	1. 表装一般　2. 材料　3. 意匠図案及び色彩　4. 建築概要　5. 関係法規
塗装	1. 塗装一般　2. 材料　3. 色彩　4. 関係法規
フラワー装飾	1. フラワー装飾一般　2. フラワー装飾作業法　3. 材料　4. 植物一般

単一等級

検定職種	試験科目
塗料調色	1. 調色一般　2. 調色作業法　3. 材料　4. 塗装一般　5. 試験及び検査 6. 色　7. 関係法規
産業洗浄	1. 産業洗浄一般　2. 対象の施設・設備・装置及び機器　3. 付着物 4. 関連基礎知識　5. 図面　6. 関係法規

3級

検定職種	試験科目
園芸装飾	1. 室内園芸装飾法　2. 材料　3. 植物一般　4. 観賞用植物の維持管理 5. 園芸施設
造園	1. 庭園及び公園　2. 施工法　3. 材料　4. 設計図書　5. 関係法規
金属熱処理	1. 鉄鋼材料の組織及び変態　2. 基本的熱処理法　3. 加熱装置及び冷却装置 4. 前処理及び後処理　5. 金属材料　6. 材料の試験　7. 品質管理
機械加工	1. 工作機械加工一般　2. 機械要素　3. 機械工作法　4. 材料 5. 材料力学　6. 製図　7. 電気
工場板金	1. 工場板金加工法一般　2. 機械工作法　3. 材料　4. 製図　5. 電気
仕上げ	1. 仕上げ法　2. 機械要素　3. 機械工作法　4. 材料　5. 製図
機械検査	1. 測定法　2. 検査法　3. 品質管理　4. 機械要素　5. 機械工作法 6. 材料　7. 製図　8. 電気
電子機器組立て	1. 電子機器　2. 電子及び電気　3. 組立て法　4. 材料　5. 製図
シーケンス制御	1. シーケンス制御一般　2. 電気　3. 製図　4. 機械工作法　5. 材料 6. 関係法規　7. シーケンス制御法
建築大工	1. 建築構造　2. 規矩術　3. 施工法　4. 材料　5. 製図
フラワー装飾	1. フラワー装飾一般　2. フラワー装飾作業法　3. 材料　4. 植物一般

（注1）　上記の試験科目のほか、全職種に共通の安全衛生の科目があります。
（注2）　複数の作業がある職種については、選択された作業の学科科目も含まれます。
（注3）　令和6年度前期技能検定学科試験における関係法令、JIS等の各種規格等の記載に基づく出題については、原則として、令和5年10月1日時点で施行されている内容に基づくものとします。
ただし、職種（作業）ごとに、実作業の現場における普及状況等を勘案し、一般的に使用されている従前の施行内容に基づく場合もあります。

◎　受検資格（1）

技能検定には、特級、1級、2級、単一等級及び3級にそれぞれ受検資格があり、この受検資格は、職業訓練歴や学歴によりいろいろ定められていますが、いずれも検定職種に関する実務の経験が必要です。

必要な実務の経験年数をおもな学歴別に示すと下表のとおりです。（免許歴、訓練歴、学歴ごとの実務経験年数については、それぞれ取得後、修了後、卒後の実務経験年数となります。）

区分		3級	2級		1級			単一等級	特級
		3級受検に必要な実務経験年数	2級受検に必要な実務経験年数		1級受検に必要な実務経験年数			単一等級受検に必要な実務経験年数	1級合格後の実務経験年数◎
				3級合格後の実務経験年数◎		3級合格後の実務経験年数◎	2級合格後の実務経験年数◎		
高度養成課程の指導員養成訓練修了　＊（注6）		0※	0	0	0	0	0	0	5
職業訓練指導員免許取得　＊		－	－	－	1	1	1	0	
指導員養成課程の指導員養成訓練修了　＊（注6）		0※	0	0	1	1	1	0	
応用課程又は特定応用課程の高度職業訓練修了　＊（注6）		0※	0	0	1	1	1	0	
専門課程又は特定専門課程の高度職業訓練修了　＊（注6）		0※	0	0	3	2	1	0	
普通課程の普通職業訓練修了　＊（注6）	2800h 以上	0※	0	0	4	4	2	0	
	2800h 未満	0※	0	0	5	4	2	1	
短期課程の普通職業訓練修了　＊（注6）	700h 以上	0※（注4）	0	0	6	4	2	1	
専修学校（注5）又は各種学校卒業　＊（厚生労働大臣が指定したものに限る）	3200h 以上	0※	0	0	4	4	2	0	
	1600h 以上	0※	0	0	5	4	2	1	
	800h 以上	0※	0	0	6	4	2	1	
大学卒業（専門職大学前期課程修了者を除く）　＊ 専修学校（大学院入学資格付与課程に限る）卒業　＊		0※	0	0	4	4	2	0	
短大・高専・高校専攻科卒業 専門職大学前期課程修了　＊ 専修学校（大学編入資格付与課程に限る）卒業　＊		0※	0	0	5	4	2	0	
専門高校卒業　＊ 専修学校（大学入学資格付与課程に限る）卒業　＊		0※	0	0	6	4	2	1	
実務経験のみ		0（注7）	2	0	7	4	2	3	

（注1）＊印は、検定職種に関する学科・訓練科及び免許を卒業・修了及び取得した者に限ります。
（注2）※印は、現在訓練を受けている者又は学科に在籍する者を含みます。
（注3）◎印は、申請時に合格証書の写しを添付して提出することが必要となります。
（注4）総訓練時間が700時間未満のものを含みます。
（注5）大学入学資格付与課程、大学編入資格付与課程及び大学院入学資格付与課程以外の専修学校。また、3級に関しては、当該学校が厚生労働大臣の指定を受けたものであるか否かにかかわらず、受検資格が付与されます。
（注6）職業能力開発促進法第92条に規定する職業訓練又は指導員訓練に準ずる訓練の修了者においても、修了した職業訓練又は指導員訓練の訓練課程に応じ、受検資格を付与します。
（注7）検定職種に関し実務の経験を有する者について、受検資格が認められます。

◎　受検資格（2）

技能検定試験において免許、特別教育等が必要な職種（作業）一覧

次の職種（作業）を受検する者は、実技試験当日に、以下の免許証・特別教育修了証・技能講習修了証の確認又は同等の知識及び技能を有していることの自己申告書への署名等が必要となります。

職　種（作業）名	等　級	該当内容	試験当日の対応
金属プレス加工 （金属プレス作業）	1・2級	動力プレスの 金型取付け等	特別教育受講修了証等の確認 又は自己申告書への署名
鉄工 （構造物鉄工作業）	1・2級	ガス溶接	ガス溶接作業主任者免許証、 ガス溶接技能講習修了証等の 資格証等の確認
		アーク溶接	特別教育受講修了証等の確認 又は自己申告書への署名
工場板金 （曲げ板金作業）	1・2級	ガス溶接	ガス溶接作業主任者免許証、 ガス溶接技能講習修了証等の 資格証等の確認
切削工具研削 （工作機械用切削工具研削作業）	1・2級	研削といしの 取替え	特別教育受講修了証等の確認 又は自己申告書への署名
電気機器組立て （変圧器組立て作業）	1・2級	ガス溶接	ガス溶接作業主任者免許証、 ガス溶接技能講習修了証等の 資格証等の確認
建設機械整備 （建設機械整備作業）			
内装仕上げ施工 （鋼製下地工事作業）	1・2級	研削といし （高速といし） の取替え等	特別教育受講修了証等の確認 又は自己申告書への署名
サッシ施工 （ビル用サッシ施工作業）	1・2級	アーク溶接	特別教育受講修了証等の確認 又は自己申告書への署名

◎ 試験の免除

免除なし　〈受検申請時に証明書（写し）を添付してください〉

1. 技能検定関係　（同一の検定職種に限ります）

対象者		技能検定試験の免除の範囲					備考
		特級	1級	2級	3級	単一等級	
特級	実技試験のみ合格	実技の全部					※1
	学科試験のみ合格	学科の全部					※1
1級	技能検定合格		学科の全部				
	実技試験のみ合格		実技の全部				※2
	学科試験のみ合格		学科の全部				※2
2級	技能検定合格			学科の全部			
	実技試験のみ合格			実技の全部			※2
	学科試験のみ合格			学科の全部			※2
3級	技能検定合格				学科の全部		
	実技試験のみ合格				実技の全部		※2
	学科試験のみ合格				学科の全部		※2
単一等級	技能検定合格					学科の全部	
	実技試験のみ合格					実技の全部	※2
	学科試験のみ合格					学科の全部	※2

※1. 特級のみ実技試験又は学科試験に合格した日から5年間（最終年にあっては年度終わりまで）有効です。
（1級、2級、3級、単一等級については、現状では永続的に有効です。）

※2. 複数の作業がある検定職種の場合には、同一の作業に限ります。

2. 職業能力開発行政関係　（検定職種に関する訓練科又は免許職種に限ります）

対象者			技能検定試験の免除の範囲					備考
			特級	1級	2級	3級	単一等級	
指導員試験合格又は指導員免許取得				学科の全部				
応用課程又は特定応用課程の高度職業訓練における技能照査合格	技能照査合格後実務経験年数	5年	学科の全部					※1
		2年		学科の全部				※1
					学科の全部			※1
専門課程又は特定専門課程の高度職業訓練における技能照査合格	技能照査合格後実務経験年数	4年		学科の全部				※1
		1年			学科の全部			※1
					学科の全部			※1
普通課程の普通職業訓練における技能照査合格	技能照査合格後2年（2800h以上なら1年）実務経験				学科の全部			※1
					学科の全部			※1
短期課程の普通職業訓練について修了時試験合格かつ修了	1級技能士コース			学科の全部				※1
	2級技能士コース				学科の全部			※1
	単一等級技能士コース						学科の全部	※1
中央技能検定委員の職にあった期間が2年以上				実技の全部及び学科の全部				※2
都道府県技能検定委員の職にあった期間が2年以上				実技の全部				※2
技能五輪全国大会における技能証				実技の全部			実技の全部	
技能五輪地方大会における技能証					実技の全部			※3
全国障害者技能競技大会	実技部門の技能証				実技の全部			※3
	学科部門の技能証				学科の全部			※3

※1. 職業能力開発促進法第92条に規定する職業訓練に準ずる訓練における技能照査又は修了時試験の合格者においても、技能照査又は修了時試験に合格した職業訓練の訓練課程に応じて、試験を免除します。
※2. 複数の作業がある検定職種の場合には、同一の作業に限ります。
※3. 有効期限を過ぎた技能証であっても有効です。（競技職種に相当する検定作業に限ります。）

3. 他法令等関係

対象者		技能検定試験の免除の範囲					備考
		特級	1級	2級	3級	単一等級	
製菓衛生師法による製菓衛生師試験に合格した者			菓子製造職種に係る学科試験のうち食品一般及び菓子一般				
建築士法による1級建築士試験若しくは2級建築士試験に合格した者又は1級建築士若しくは2級建築士の免許を受けた者			建築大工職種及びブロック建築職種に係る学科試験の全部			枠組壁建築職種に係る学科試験の全部	
建築士法による木造建築士試験に合格した者又は木造建築士の免許を受けた者			建築大工職種に係る学科試験の全部			枠組壁建築職種に係る学科試験の全部	
東京商工会議所が行う和裁に関する技能検定	1級技能検定合格		和裁職種に係る実技試験の全部				
	2級技能検定合格			和裁職種に係る実技試験の全部			

◎　技能検定職種に該当する学科課程一覧

職種名	高校・大学等の学科課程
園芸装飾	園芸科・フラワーデザイン科・ガーデニング科
造園	造園科
鋳造	や金科・金属工学科・機械科
金属熱処理	や金科・金属工学科・機械科
機械加工	機械科
非接触除去加工	機械科
金属プレス加工	機械科
鉄工	金属工学科・機械科・造船科・建築科・土木科
建築板金	機械科・建築科
工場板金	機械科
めっき	金属工学科・工業化学科・化学工学科
仕上げ	機械科
切削工具研削	機械科・木材加工科
機械検査	機械科
ダイカスト	や金科・金属工学科・機械科
電子機器組立て	電子科・電気科
電気機器組立て	電子科・電気科
シーケンス制御	電子科・電気科
産業車両整備	機械科
建設機械整備	機械科
家具製作	工芸科
建具製作	建築科・工芸科
プラスチック成形	機械科・電気科・工業化学科
石材施工	建築科・土木科
建築大工	建築科・大工科
とび	建築科
左官	建築科
タイル張り	建築科
防水施工	建築科
内装仕上げ施工	建築科
サッシ施工	建築科
表装	工芸科
塗装	建築科・工芸科・塗装科
塗料調色	塗装科
産業洗浄	機械科・工業化学科・土木科・金属工学科
フラワー装飾	園芸科・フラワーデザイン科・フラワービジネス科

注）上記学科に準ずる学科であれば該当するものとします。詳しくは当協会事務局までおたずねください。

記載例 ◎インク又はボールペンにて本人が楷書で記入してください。
◎本人確認書類の写しは裏面記入上の注意の欄に必ずのりで貼付してください。

○級技能検定受検申請書

記入日 ○年○月○日

受付印

三重県知事 様

技能検定を受検したいので申請します。

本人署名 検定一郎 ← 自筆

（左票）

受検する職種、作業名及び番号を記入

職種番号	0 6 2	職種名	造園	※受検番号			
作業番号	0 1 0	作業名	造園工事				
フリガナ	ケン テイ	イチ ロウ	生年月日	S (H) 7年 1月 1日生 満 29 年 3 ヶ月	性別	(男) 女	
氏名	検定	一郎					
自宅住所	〒514-0004 津市栄町1－954	電話番号（○○○）○○○－○○○○					

記入が必須

受検資格					
学歴	学校名	学科課程	所在地	在学期間	
	三重農業高校	造園科	津市	S(H)R ○年○月～○年○月	在学中(卒業)中退
				S・H・R 年 月～ 年 月	在学中・卒業・中退
訓練歴	訓練校名（除通信教育）	訓練課程	所在地	訓練を受けた期間	
	三重検定訓練校	土木科	津市	S(H)R ○年○月～○年○月	在学中(修了)中退
職歴	事業所名	所在地・電話番号	職務内容	在職期間	
	現在のところ 技能造園	津市○○町1 電話番号（○○○）○○○－○○○○	造園	S(H)R ○年○月～現在 在職期間（○年○ヶ月）	
				S・H・R 年 月～ 年 月 在職期間（ 年 ヶ月）	
				S・H・R 年 月～ 年 月 在職期間（ 年 ヶ月）	
技能検定合格記入欄	級・職種名	級	合格年月日（作業名）合格番号	S・H・R 年 月 日（ ）第 号	

受検資格に関係する場合は記入する合格証（写し）を添付

受検区分	免除のない方		免除のある方		
	受検区分該当の記号欄に○	記号欄	免除区分該当の番号及び記号欄に○	記号欄	※免除資格判定
	実技試験・学科試験両方受検する方	(A甲)	実技試験免除（学科受検）：①実技試験合格 ⑥技能証 ⑦検定員歴 ⑧商工会和裁 ⑨その他 取得年月日及び名称・番号 S・H・R 年 月 日（ ）第 号	(B)	
	学科試験のみ受検する方	(A乙)			
	実技試験のみ受検する方	(A丙)	学科試験免除（実技受検）：①学科試験合格 ②技能検定合格 ③技能照査 ④指導員免許 ⑤向上訓練（短期訓練） ⑥技能証 ⑦検定員歴 ⑨その他 取得年月日及び名称・番号 S・H・R 年 月 日（ ）第 号	(C)	
	※受検資格判定				
			実技・学科両方免除	◎上記実技・学科免除欄の該当箇所に記入する	(D)

※ 該当する区分に○をつける 免除のある方は、証明する書類（写し）を添付

分類 ワ・ヌ・リ・チ・ヨ・タ・（ ）

申請区分	事業所コード	所属事業所名	とりまとめ事業所・団体名
① 事業所・団体一括申請（受検票等一括送付）	×××××	技能造園	○○造園組合
2 個人申請（受検票等自宅送付）			

注．裏面の記入上の注意をよく読んでから記入すること。

別紙・事業所・団体コード表より記入（個人申請の方は「00000」）

（右票）

※免除や実技・学科の片方だけを受検する場合
受検しない試験の写真票には記入及び写真は不要

○級実技試験写真票

職種番号	062	職種名	造園
作業番号	010	作業名	造園工事
※受検番号			
フリガナ	ケン テイ	イチ ロウ	
氏名	検定	一郎	
生年月日	S (H) 7年 1月 1日生		
自宅住所	〒514-0004 津市栄町1－954		
自宅電話番号	（○○○）○○○－○○○○		
携帯電話番号	（○○○）○○○○－○○○○		
勤務先名称	技能造園		
勤務先所在地	〒514-○○○○ 津市○○町1		
勤務先電話番号	（○○○）○○○－○○○○		

写真
- タテ4cm×ヨコ3cm
- 1年以内に撮影したもの
- 無背景・脱帽で、本人確認ができるもの
- 写真のウラに、級・作業名・氏名を書いてから貼ること

○年○月撮影

とりまとめ事業所・団体名 ○○造園組合

※試験会場

○級学科試験写真票

職種番号	062	職種名	造園
作業番号	010	作業名	造園工事
※受検番号			
フリガナ	ケン テイ	イチ ロウ	
氏名	検定	一郎	
生年月日	S (H) 7年 1月 1日生		
自宅住所	〒514-0004 津市栄町1－954		
自宅電話番号	（○○○）○○○－○○○○		
携帯電話番号	（○○○）○○○○－○○○○		
勤務先名称	技能造園		
勤務先所在地	〒514-○○○○ 津市○○町1		
勤務先電話番号	（○○○）○○○－○○○○		

写真
- タテ4cm×ヨコ3cm
- 1年以内に撮影したもの
- 無背景・脱帽で、本人確認ができるもの
- 写真のウラに、級・作業名・氏名を書いてから貼ること

○年○月撮影

とりまとめ事業所・団体名 ○○造園組合

※試験会場

技能五輪三重県予選参加案内

技能五輪とは

国際職業訓練競技大会（技能五輪）は1950年（昭和25年）以来、ヨーロッパ各国のあいだで職業訓練をさかんにするとともに、青年技能者たちが国際的に親しみ、お互いに理解しあって、新しい時代にふさわしい産業人になることを目的として行われているものです。

(1)　競技職種　（都合により競技職種に変更がある場合があります。）

技能五輪三重県予選実施職種	技能検定に関する職種	技能五輪三重県予選実施職種	技能検定に関する職種
旋盤	機械加工（普通旋盤作業）	家具	家具製作（家具手加工作業）
フライス盤	機械加工（フライス盤作業）	建具	建具製作（木製建具手加工作業）
構造物鉄工	鉄工（構造物鉄工作業）	とび	とび（とび作業）
曲げ板金	工場板金（曲げ板金作業）	左官	左官（左官作業）
機械組立て	仕上げ（機械組立仕上げ作業）	タイル張り	タイル張り（タイル張り作業）
電子機器組立て	電子機器組立て（電子機器組立て作業）	フラワー装飾	フラワー装飾（フラワー装飾作業）
工場電気設備	電気機器組立て（配電盤・制御盤組立て作業）		

(2)　競技期日

令和６年６月６日（木）～令和６年７月２日（火）　までの間に指定する日

(3)　競技場

参加申込み者に通知します。

(4)　全国大会

予選参加者のうち成績優秀者は、三重県職業能力開発協会会長推薦により全国大会に出場することができます。

技能検定職種に関連する予選職種については、一定水準以上の成績をおさめられた方に「技能証」を交付します。技能証を取得された方は、２級技能検定を受検する際、関連する職種の選択作業の実技試験が免除になります。

(5)　参加資格

平成 13 年（2001 年）1 月 1 日以降に生まれた者（全国大会開催年に 23 歳以下）。

（技能検定の受検資格のある人は同時に２級も受検できます。）

※国際大会出場者は、国際大会開催年に 22 歳以下を対象とします。

(6)　参加申込みの方法

（イ）　参加手数料

技能検定に関する職種は技能検定手数料と同様

（ロ）　受付期間

令和６年４月３日（水）～令和６年４月 16 日（火）（土、日、祝日は除く）

（ハ）　提出書類

技能検定２級受検申請と併用して申請される場合は、技能検定２級申請書、また、五輪単独で申請される場合は、技能五輪三重県予選参加申込書を提出してください。

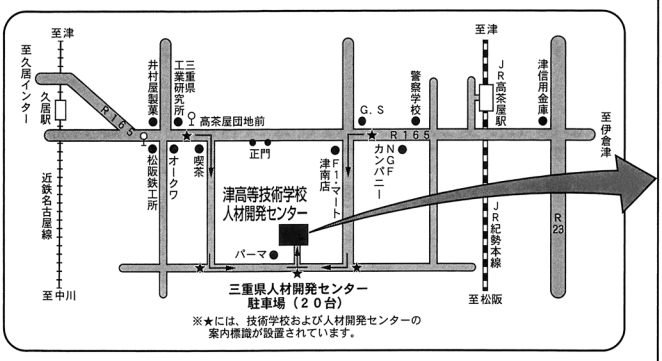
令和６年度前期三重県技能競技大会参加案内

技能検定の実技試験 (製作等作業試験) 及び技能五輪三重県予選とかねて行いますので、これらの受検者並びに参加者は、すべて本競技大会の参加者とみなし、その成績優秀者で一定基準の成績に達した方の中からそれぞれの職種（作業）の１位から３位まで表彰します。

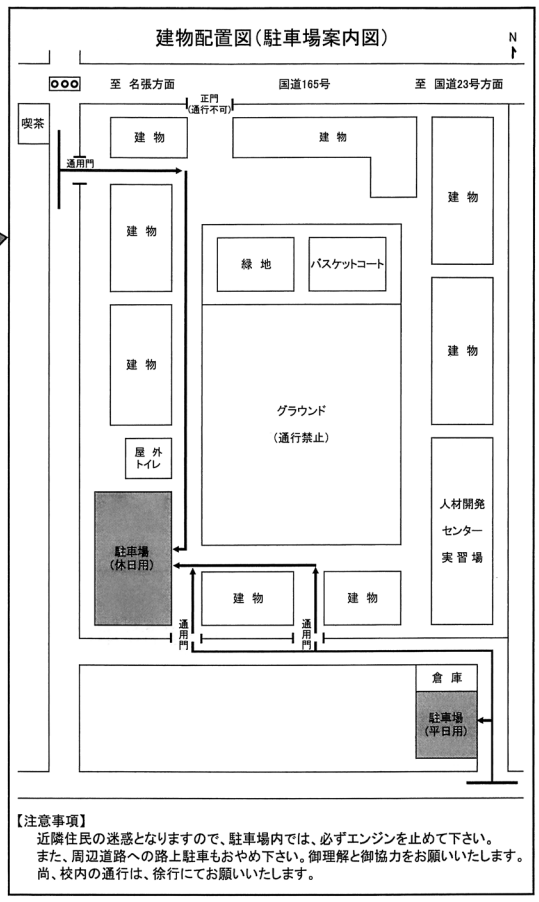
但し、参加者少数の職種にあっては１名又は２名になることもあります。

おもな実技試験会場案内図

三重県立津高等技術学校
三重県人材開発センター



拡大図



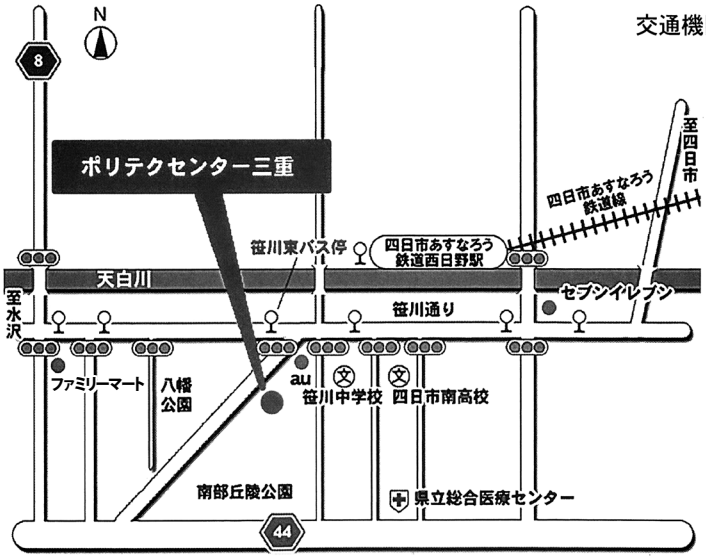
●近畿日本鉄道 久居駅よりバス（日本鋼管行き）
高茶屋団地前　下車　徒歩５分

●ＪＲ高茶屋駅より
徒歩20分

※バス等の公共交通機関を御利用の際は、
各自で事前に各公共交通機関等へ御確認ください。

三重県人材開発センター（三重県立津高等技術学校内）
津市高茶屋小森町1176-2

三重職業能力開発促進センター（ポリテク三重）

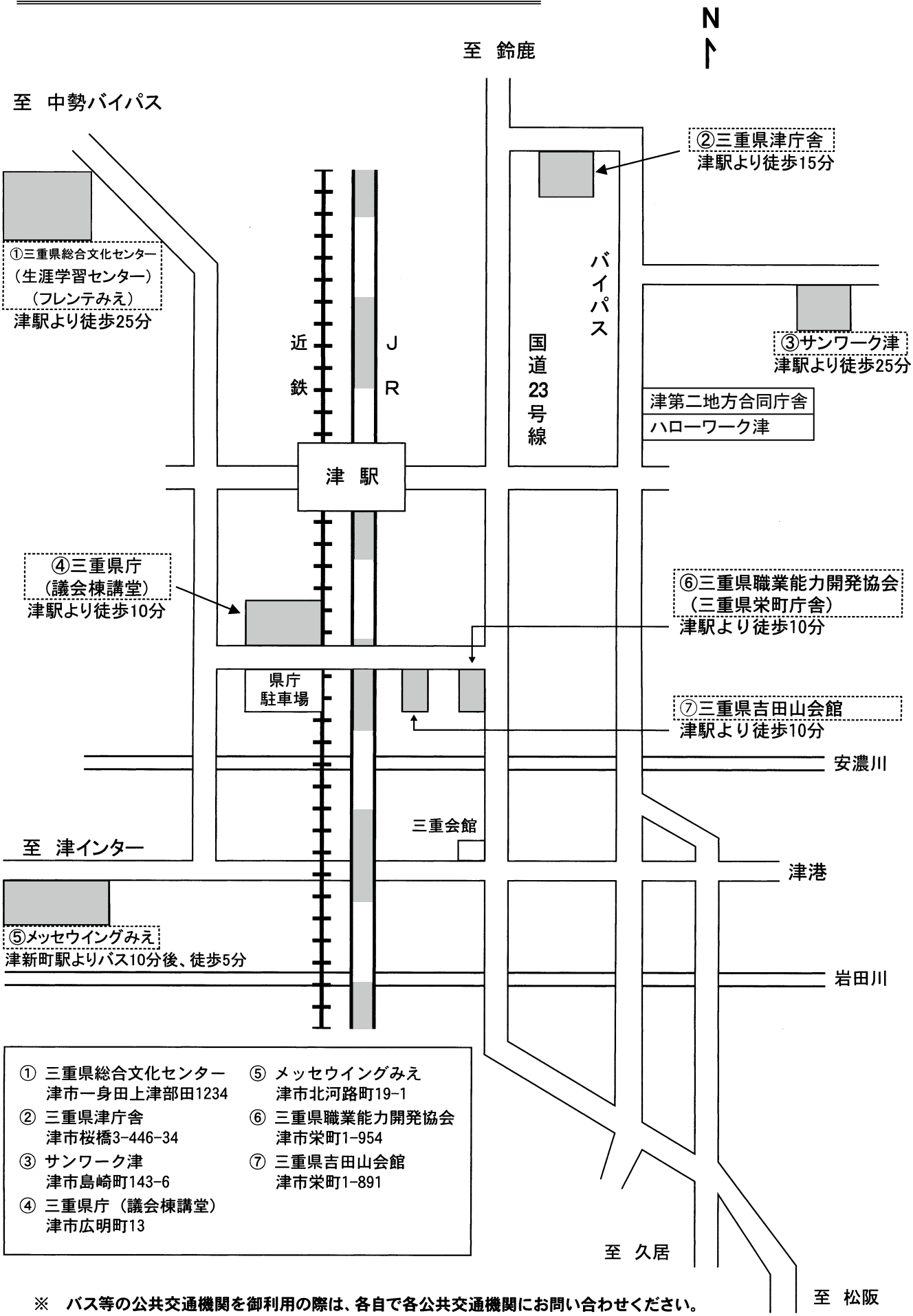


交通機関　近畿日本鉄道…西日野駅より徒歩10分
（四日市あすなろう鉄道線）
三重交通バス…近鉄四日市駅バス１番のりば
・南日永経由、笹川団地行
・笹川テニス場行
いずれも「笹川東」下車徒歩５分

※バス等の公共交通機関を御利用の際は、各自で事前に各公共交通機関等へ御確認ください。

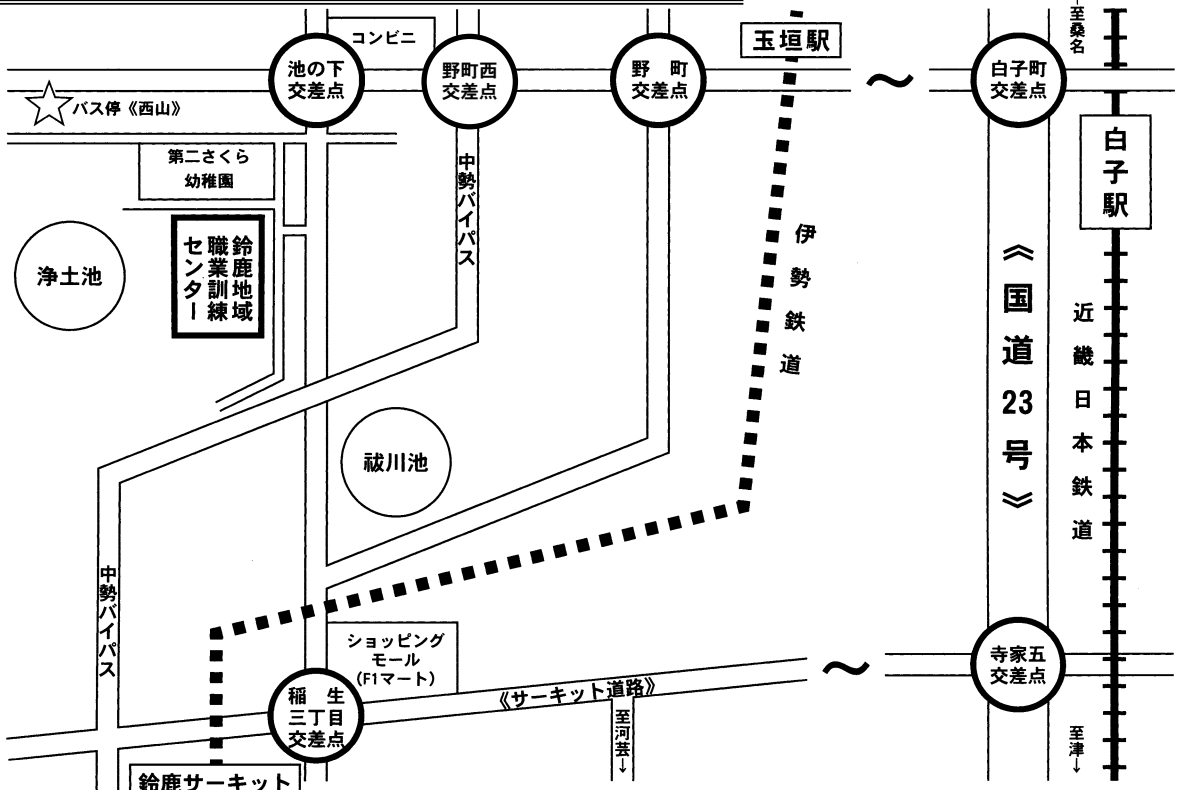
三重職業能力開発促進センター（ポリテク三重）
三重県四日市市西日野町4691

おもな学科試験等会場案内図（津市内）



※　バス等の公共交通機関を御利用の際は、各自で各公共交通機関にお問い合わせください。

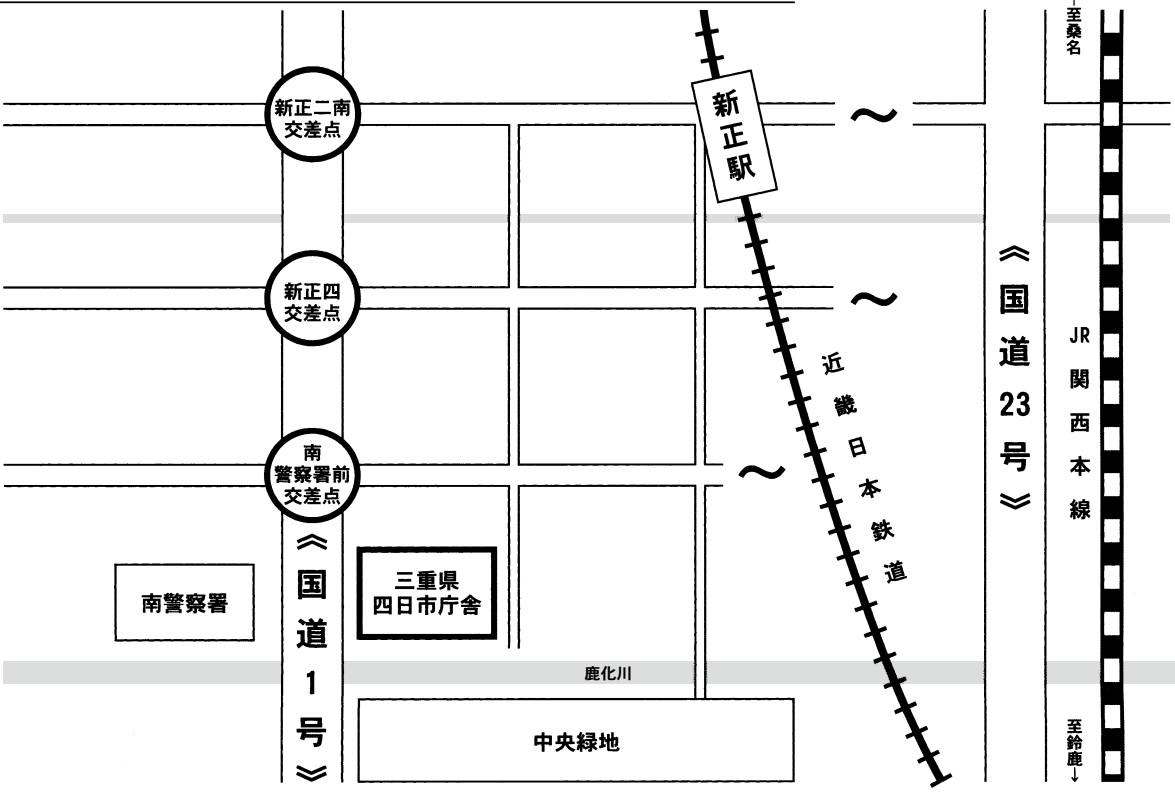
おもな学科試験等会場案内図（鈴鹿市内）



◎ 鈴鹿地域職業訓練センター　伊勢鉄道「鈴鹿サーキット稲生」駅より徒歩にて25分
鈴鹿市鈴鹿ハイツ1-20　近畿日本鉄道「白子」駅より三重交通バス「西山」バス停まで約20分
三重交通バス「西山」バス停より徒歩にて10分

※バス等の公共交通機関を御利用の際は、各自で事前に各公共交通機関等へ御確認ください。

おもな学科試験等会場案内図（四日市市内）

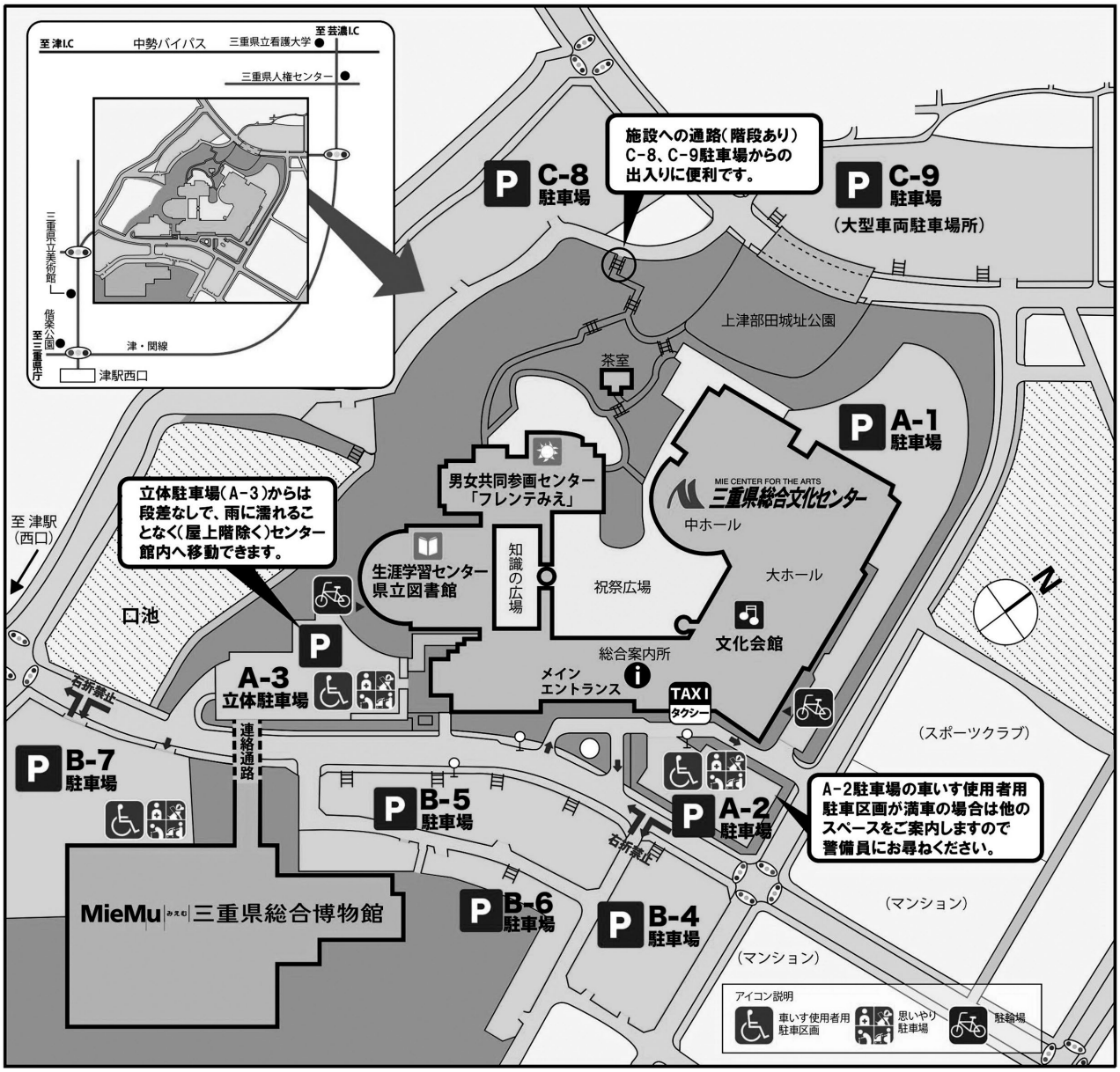


◎ 三重県四日市庁舎　近畿日本鉄道「新正」駅より徒歩にて5分
四日市市新正4-21-5　三重交通バス「四日市南警察署前」バス停より徒歩にて1分

※バス等の公共交通機関を御利用の際は、各自で事前に各公共交通機関等へ御確認ください。

三重県総合文化センターの御案内

駐車場の御案内



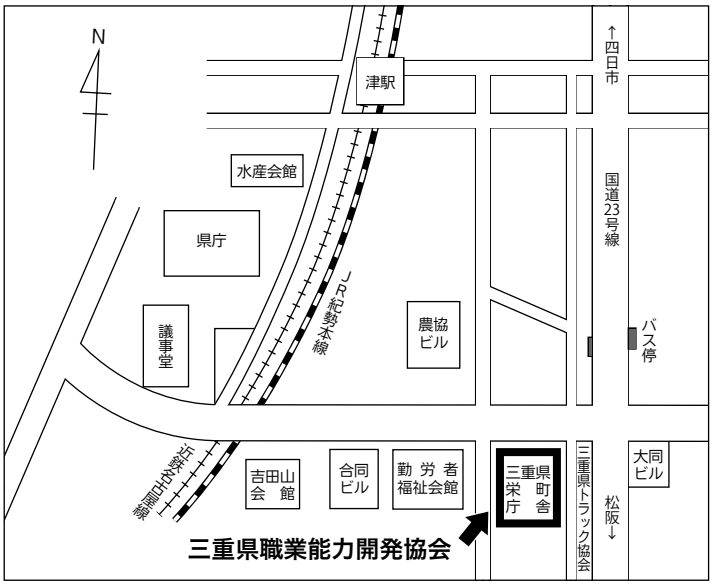
〈参考〉

https://www.center-mie.or.jp/access/parking.html

三重県職業能力開発協会

〒514-0004　津市栄町1丁目954番地（三重県栄町庁舎4F）
TEL（059）228-2732　FAX（059）228-1134

http://www.mivada.or.jp　三重県職業能力開発協会　検索



〔交通案内〕JR・近鉄津駅より徒歩10分
三交バス「県庁前」停留所より徒歩3分